

【東京オリンピック 2020 トレーナー帯同報告】

令和3年8月11日

(公財)日本水泳トレーナー会議

白水 豪

◆日程 (7/27～ 8/5)

- 7月27日 水球 (武蔵の森 練習会場)
- 28日 競泳試合 FOP (アクアティクセンター)
- 31日 競泳 (アクア練習会場)
- 8月1日 水球試合 FOP (辰巳プール)
- 8月2日 マラソンスイミング練習 (お台場練習日)
- 8月5日 マラソンスイミング男子レース FOP

◆勤務体制

(Aシフト 7:30～15:00 Bシフト 15:00～22:30)

- ・武蔵野の森 練習会場 看護師1名 PT/ACA 1名
- ・アクアティクセンター ドクター2名 PT/ACA 2名
- ・アクア練習会場 ソクター1名 PT/ACA 1名
- ・辰巳 ドクター1名 PT/ACA 1名 デンティスト1名
- ・お台場海浜公園 (4:15～10:00) ドクター7名 PT/ACA 6名
医務室 FOP 30分交代

◆リブマックス東京塩見駅前 (徒歩15分) (競泳 水球 AS)

グラントニッコーホテル (徒歩5分) (OWS)

◆記録 電子カルテ登録 LINE グループ

◆サポート内容

○水球 擦過傷 バンドエード

○競泳 血圧測定

レース後に嘔吐する選手有り 嘔吐物 床を次亜塩素酸で消毒
足趾の擦過傷

○マラソンスイミング (最高気温34度 水温29度)

労作性熱中症 右目切創

(準備)

アイスタオル レース前ゴール前にクラーボックスで準備

ゴール時にマスクミが集中する為 メディカルの位置をキープ

アイスバス 氷投入し目標温度(10～15℃) かかるので早めに投入する事

(レース中)

- ①引き上げ1例目 フランス選手
労作熱中症 呼吸苦 O₂投入 アイスタオル
自立歩行困難 救急車ポリクリ搬送
- ②引き上げ2例目 スペイン選手 呼吸苦 O₂投入 アイスタオル
処置後 帰宅
- ③右目切創 イギリス選手 ステリテープ+ガーゼ保護
- ①②引き上げ2名 ストレッチャー不足 人員不足
(搬送人数調整 2例目の人員不足 基本4人体制)
救急赤 緑 バック FOP 置き去り (バック担当者決める)
電動カートで搬送 活用⇒良かった



OWS (お台場医務室 アイスバス)

◆注意

7/22 PCR 毎日検査する 会場に入る前に提出。

7/29 ボランティア帰宅時に AD の強奪事件発生 複数で移動される様をお願い。

8/4 AS ギリシャチームコロナ感染



コロナ隔離施設（辰巳 お台場）

◆総括

競泳 水球 飛込み OWS の 4 種目の FOP MC に参加する事が出来ました。特に印象に残る OWS の FOP はレースの後半になると水温 体温も上がり熱中症の選手が出て来て海上ピックアップ作業が連続しました。次の負傷者が出て来ると人員不足で応援要請の指示も出来ず戸惑う場面も有りました。医務室では次々に運ばれてくる選手の対応に追われてしまい、ゴール時間にストレッチャーや機材の移動もギリギリの時間での対応になりました。来年の世界水泳の OWS に向けての課題です。

引き上げから地点の交代の練習 搬送 医務室での役割分担 交代要員が来ない時の対応など事前練習の時間を取る事について必要性が有ると思われまます。

最後になりましたが、多数の種目のサポートに参加できて貴重な経験になりました。関係者の皆様ありがとうございました。

